

## 2008年夏季ボーナス支給（予想） アンケート調査結果

戦後最長といわれた国内景気の回復にも、米国の景気減速や原油価格高騰等でやや陰りがみられ、6月の月例経済報告では、「景気回復は足踏み状態にあるが、一部に弱い動きがみられる」とされている。

県内景況についても、個人消費にやや持ち直しの兆しがみられるが、住宅着工や公共工事などは依然として沈滞気味で、需要面は全体的には弱含みとなっている。また、生産活動も、一部の輸出関連、設備投資関連の企業などでは堅調なもの、一般的に低水準で一進一退の動きが続いている。

このように、回復の動きにあった全国景気が直近では足踏み感を強める中、県内企業については、好不調まちまちで格差が生じやすくなっており、ボーナス支給を取り巻く状況は不透明感が強まっている。

そのような経済情勢下、当センターでは、県内企業の2008年夏季ボーナス支給（予想）アンケート調査を実施し、239社から回答を頂戴した。その調査結果は次の通りである。

### 要 約

#### ①ボーナスの支給状況

今年夏のボーナスを「支給する」とした企業は75.3%、「支給しない」が11.3%、「未定」が13.0%となり、「支給する」とした企業は昨年夏比1.2ポイント減少した。

#### ②平均支給額および平均支給月数

今年夏の従業員1人当たりのボーナス平均支給額（加重平均）は前年比2.4%増の483,186円で、3年ぶりに前年実績を上回る結果となった。

また、平均支給月数（単純平均）は1.45か月と、昨夏比で0.01か月増加した。

#### ③昨年支給額と増減企業割合の比較

昨年夏に比べ、支給額が「増加する」とする企業が20.0%、「ほぼ同じ」企業が66.1%、「減少する」

とした企業は10.6%となった。増加企業は昨年（23.3%）に比して減少し一進一退の動きとなった。

#### ④ボーナスの支給時期

ボーナスの支給予定時期は7月中旬（11日～20日）が支給予定企業の24.4%と最も多い。また、支給予定企業の約3分の2の企業が7月中旬までに支給するとしている。

#### ⑤ボーナス支給額の決定基準

ボーナス支給額の決定基準では、「自社の業績」とする企業の割合が8割を上回っている。

#### ⑥ボーナス資金の調達方法

ボーナス支払資金の調達では、「自己資金」とする企業が最も多い。昨年と比べ「自己資金」の割合がやや増加し、「銀行借入」から「自己資金」への流れが続いている。

#### ⑦パートへのボーナス支給

パートを雇用している企業の内55.3%の企業がパートへのボーナス支給を予定しており、支給企業割合は、昨年夏より2.0ポイント増加した。ただ、1人当たりのボーナス平均支給額（加重平均）は38,030円で、昨夏比22.9%の減少となった。

## 1 ボーナスの支給状況

2008年夏のボーナスの支給予定を尋ねたところ、回答企業239社（6月5日時点）の内180社（75.3%）がボーナスを「支給する」としており、「支給しない」とした企業は27社（11.3%）となった。また、現在「未定」とした企業は31社（13.0%）であった。

昨年夏のボーナス調査と比べると、「支給する」とした企業は1.2ポイント減少、「支給しない」とした企業は同割合、「未定」とした企業の割合は0.8ポイント増加した。

ボーナス支給企業の割合は3年連続で減少した。

## 2 1人当たりボーナス支給額 (パートを除く)

ボーナス支給予定企業の従業員1人当たりのボーナス平均支給額(集計可能な135社の加重平均)は483,186円で、昨年夏実績を2.4%上回り、金額で11,378円増加の見込みとなった。

従業員1人当たりのボーナス支給額は、20~30万円未満とする企業が27.5%で最も多く、以下30~40万円未満とする企業が24.8%、20万円未満が16.8%、40~50万円未満とする企業が12.1%などとなった。

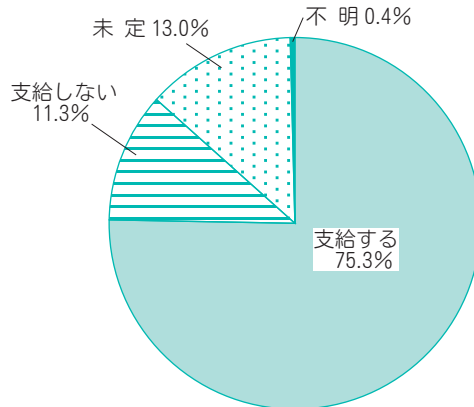
昨年夏と比較した支給額は、20万円未満が5.3ポイント、20~30万円未満が1.2ポイント、60~70万円未満が2.1ポイント減少。一方、30~40万円未満は3.8ポイント、40~50万円未満は2.7ポイント、50~60万円未満が0.5ポイント、70~80万円未満が0.1ポイント、80万円以上が1.5ポイント増加。

### 《夏季ボーナス支給額の動き》

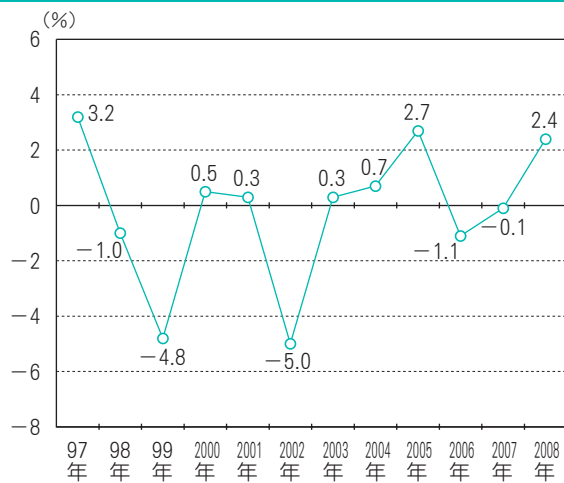
夏季ボーナス支給予想額は、2002年に前年比△5.0%に落ち込んだのち3年連続で上昇、一昨年、昨年は2年連続の低下をみた。

今年は、直近の景気は足踏み状態ながら、非製造業を中心に増額の動きがみられ、2.4%増の見込みとなった。

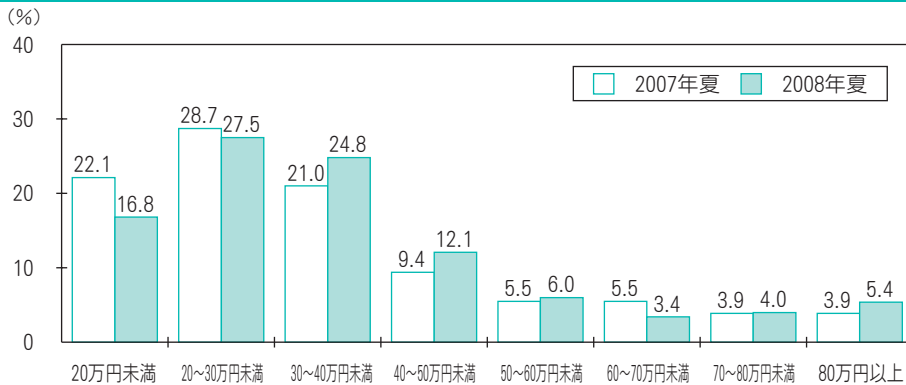
### 夏のボーナス支給状況



### 夏季ボーナス支給予想額の前年比推移



### ボーナス支給額の分布状況



## 《業種別、従業員規模別にみる1人当たり平均支給額》

平均支給額を業種別にみると、サービス業が707,486円で最も多く、次いで、窯業・土石製品製造業、その他製造業、小売業の順となった。一方、支給額が最も少ないのは、木材・木製品製造業の202,294円であった。支給額の最も多いサービス業と最も少ない木材・木製品製造業を比べると、倍率で約3.5倍、差額で約50万円となっている。

一方、平均支給額を従業員規模別にみると、従業員200人以上の企業が612,764円で最も多く、5人未満の企業が279,357円で最も少ない。支給額の最も多い200人以上の企業と最も少ない5人未満の企業を比べると、倍率で約2.2倍、差額で約33万円であった。業種別・従業員規模別とも平均支給額の格差は大きい。

製造業および非製造業の各業種別では、全15業種のうち、昨年夏より支給額が増加したのは、サービス業、小売業、その他製造業等の11業種、減少したのは、窯業・土石製品製造業、建設業、卸売業、繊維製品製造業の4業種であった。

また、産業別では、今年夏の製造業は440,404円（昨年夏439,268円）と前年比0.3%の増加。また、非製造業は520,966円（同500,429円）と同4.1%の増加となった。

今回、製造業では、窯業・土石製品製造業（△25.1%）等で減少をみているものの、その他のほとんどの業種で増加し、また、非製造業では、サービス業、小売業等が比較的大幅に増加したことから、全体の支給額も前年比2.4%増加となった。

## 業種別平均支給額（前年比）

（単位：円、%）

	2008年夏	2007年夏	前年比
全 体	483,186	471,808	2.4
製 造 業	440,404	439,268	0.3
食品製造業	228,494	226,056	1.1
繊維製品製造業	302,543	303,362	-0.3
木材・木製品製造業	202,294	198,301	2.0
化学製品製造業	456,983	456,109	0.2
窯業・土石製品製造業	603,432	805,794	-25.1
金属製品製造業	363,396	360,763	0.7
プラスチック製品製造業	421,187	419,239	0.5
その他製造業	568,545	536,346	6.0
非 製 造 業	520,966	500,429	4.1
卸 売 業	489,533	491,629	-0.4
小 売 業	518,855	479,411	8.2
建 設 業	356,224	359,813	-1.0
不 動 産 業	418,622	409,412	2.2
運 輸 ・ 通 信 業	256,000	250,000	2.4
サービスマ	707,486	643,463	9.9
その他非製造業	450,003	440,704	2.1

## 業種別・規模別のボーナス平均支給額

（単位：社、円）

	企業数	全 体												
		社	5人未満	社	5~29人	社	30~49人	社	50~99人	社	100~199人	社	200人以上	
全 体	135	483,186	9	279,357	56	321,474	24	395,185	22	329,591	16	527,592	8	612,764
食品製造業	4	228,494			1	180,000	1	250,000	2	223,919				
繊維製品製造業	12	302,543	2	180,250	4	269,200	4	419,595	2	167,619				
木材・木製品製造業	8	202,294	1	200,000	5	244,231			1	300,000	1	132,000		
化学製品製造業	3	456,983			1	300,000					1	550,000	1	430,000
窯業・土石製品製造業	2	603,432							1	613,000	1	599,000		
金属製品製造業	15	363,396			7	343,282	4	387,562	3	327,316	1	400,000		
プラスチック製品製造業	9	421,187			4	176,406	2	203,353	1	180,000	2	642,902		
その他製造業	15	568,545	1	450,000	5	315,514	1	145,000	3	301,704	4	444,439	1	937,000
卸 売 業	15	489,533			8	483,844	4	522,585	1	166,000	2	551,681		
小 売 業	6	518,855	2	228,714			1	179,000			1	375,000	2	591,671
建 設 業	19	356,224	2	287,500	12	269,241	2	330,769	2	275,397			1	460,000
不 動 産 業	2	418,622	1	300,000			1	433,000						
運 輸 ・ 通 信 業	1	256,000							1	256,000				
サービスマ	12	707,486			6	342,843	1	274,000	1	397,000	3	728,575	1	800,000
その他非製造業	12	450,003			3	540,894	3	707,643	4	514,409			2	372,091

## 3 1人当りボーナス支給月数

集計可能な135社の今年夏の平均支給月数（単純平均）は1.45か月と、昨夏比で0.01か月増加した。

業種別にみると、窯業・土石製品製造業が2.50か月で最も多く、以下、化学製品製造業が1.80か月、その他非製造業が1.78か月と続く。一方、食料品製造業が0.98か月と最も少ない。支給月数を前年と比べると、製造業（8業種）では、木材・木製品製造業、金属製品製造業、その他製造業の3業種で増加、食料品製造業、プラスチック製品製造業が横ばい、それ以外の3業種では前年を下回った。また、非製造業（7業種）では、小

売業、建設業、その他非製造業の3業種で増加、不動産業、運輸・通信業、サービス業が横ばい、卸売業は前年を下回った。

## 4 昨年夏のボーナス支給額と比べて

昨年夏に比べて、従業員1人当りの支給額が「増加する」とした企業が20.0%（昨年夏23.3%）、「減少する」とした企業が10.6%（同12.5%）と、それぞれ減少する一方、「ほぼ同じ」とする企業が66.1%（同61.4%）と増加した。

また、図表にはないが、ボーナスの「増加原因」については、「業績が良くなった」という企業が47.2%、「一人あたりの定例給与が増加」という企

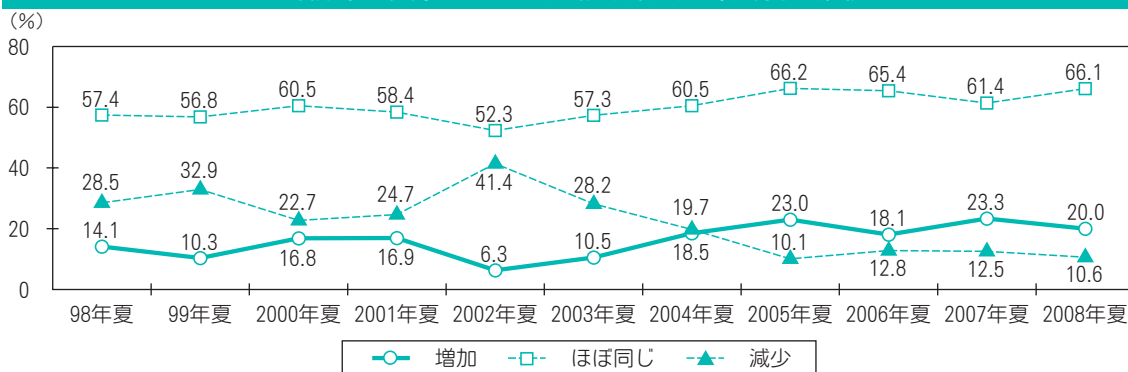
業種別・規模別支給月数

	全 体	5人未満	5~29人	30~49人	50~99人	100~199人	200人以上
全 体	1.45 (1.44)	1.12 (1.12)	1.30 (1.28)	1.48 (1.48)	1.39 (1.37)	1.92 (1.93)	2.09 (2.05)
食料品製造業	0.98 (0.98)		0.80	1.00	1.05		
繊維製品製造業	1.26 (1.30)	0.93	1.10	1.79	0.85		
木材・木製品製造業	1.05 (0.99)	1.00	1.12		1.30	0.50	
化学製品製造業	1.80 (1.81)		1.00			2.40	2.00
窯業・土石製品製造業	2.50 (3.00)				3.00	2.00	
金属製品製造業	1.30 (1.29)		1.19	1.48	1.20	1.70	
プラスチック製品製造業	1.31 (1.31)		1.18	0.80	0.80	2.35	
その他製造業	1.55 (1.45)	2.00	1.21	0.63	1.53	1.78	2.88
卸 売 業	1.70 (1.72)		1.82	1.58	0.56	2.05	
小 売 業	1.51 (1.48)	1.07		1.01		1.50	2.20
建 設 業	1.18 (1.16)	0.81	1.10	1.10	1.80		1.75
不 動 産 業	1.57 (1.57)	1.50		1.63			
運 輸 ・ 通 信 業	1.40 (1.40)				1.40		
サ ー ビ ス 業	1.73 (1.73)		1.34	1.65	1.80	2.25	2.55
その他非製造業	1.78 (1.77)		1.96	2.11	1.51		1.58

(単位：ヵ月)

\* ( ) 内は2007年夏のボーナス支給月数

対前年比夏季ボーナス支給額増減企業割合の推移



業が38.9%などとなった。一方、「減少原因」では「業績が悪くなった」という企業が68.4%、「1人あたりの定例給与が減少」が15.8%などとなった。

## 5 ボーナスの支給時期

ボーナスの支給予定時期は、7月中旬（11日～20日）が最も多く、支給予定企業の24.4%である。次いで多いのが7月上旬（1～10日）で23.9%、8月上旬が12.8%、7月下旬11.7%の順となった。支給予定企業の約3分の2の企業が7月中旬までに支給するとしている。

## 6 ボーナス支給額の決定基準

ボーナスの支給額を決定する基準としては、「自社の業績」とする企業が最も多く、昨年夏と同水準の81.2%となった。

また、「過去の実績」とする企業についても、昨年夏と同水準の9.6%であった。

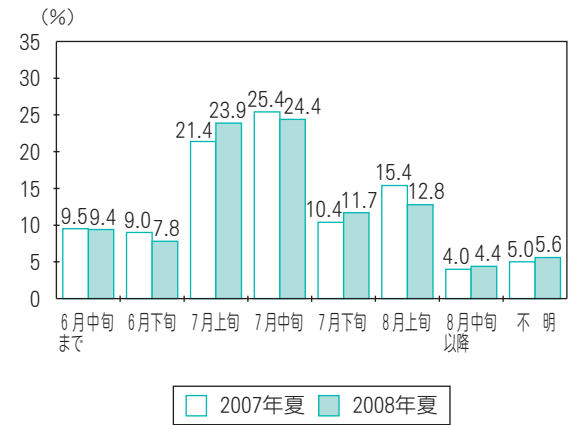
## 7 ボーナス資金の調達方法

ボーナス資金の調達方法は、「自己資金」とする企業が62.3%、「自己資金と銀行借入併用」とする企業が22.2%、「銀行借入」とする企業が8.4%となった。

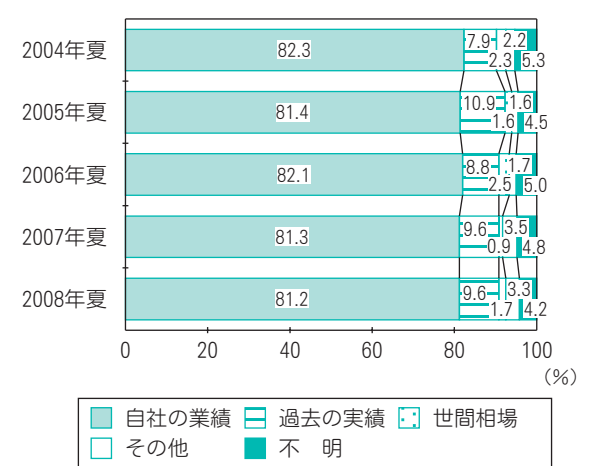
昨年夏と比べて、「自己資金」が0.6ポイント増加、「自己資金と銀行借入併用」が同数値となる一方で、「銀行借入」は0.3ポイント減少した。

ボーナス資金の調達において「自己資金」を用いる企業が増加傾向にある一方で、「銀行借入」は減少傾向にあることがうかがえる。

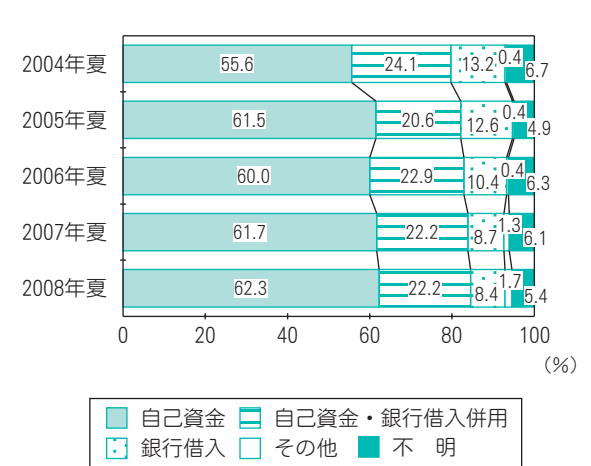
### ボーナスの支給時期



### ボーナスの支給の決定基準



### ボーナス資金の調達方法





## 8 パートのボーナス支給について

パートを雇用している企業は、回答企業 239 社のうち 170 社 (71.1%) であった。そのなかでボーナスを「支給する」とした企業は 94 社 (55.3%)、「支給しない」とした企業が 56 社 (32.9%)、「現在検討中」とした企業 18 社 (10.6%) となった。「支給する」企業の割合は、昨年夏 (53.3%) に比べ 2.0 ポイント増加した。

一方、支給予定企業 (94 社) のうち集計可能な企業 (86 社) のパート 1 人当りのボーナス平均支給額 (加重平均) は、38,030 円となり、昨年 (49,301 円) 比で 22.9% の減少となった。

### 業種別のパートへのボーナス平均支給額

(単位: 社、円)

	企業数	人数	全体
全 体	86	2,232	38,030
製 造 業	50	730	53,219
食品製造業	4	62	96,290
繊維製品製造業	10	156	59,609
木材・木製品製造業	2	25	76,000
化学製品製造業	3	12	58,333
窯業・土石製品製造業	1	5	70,000
金属製品製造業	13	115	77,087
プラスチック製品製造業	6	50	51,800
その他製造業	11	305	30,085
非 製 造 業	36	1,502	30,648
卸 売 業	7	57	60,018
小 売 業	6	76	32,737
建 設 業	7	32	51,250
不 動 産 業	1	2	150,000
運輸・通信業	1	3	10,000
サービス業	6	283	32,339
その他非製造業	8	1,049	27,647

## 9 ま と め

今夏のボーナス支給 (予想) 調査では、平均支給額は前年比 2.4% のプラスと 3 年ぶりの増加予想となった。産業別では、原材料価格の高騰、原油価格高騰を反映した運賃などの諸コスト上昇により製造業が伸び悩む一方で、やや回復をみせた県内個人消費の影響等から非製造業で比較的增加している。

ただ、全国主要企業の支給額見通しでは、米国景気の減速、原材料価格高騰による景気の足踏み感を反映して前年に引き続きマイナス予想となっている。

そのため、今回の調査時点でボーナス支給に関して「未定」とした回答企業においては、今後、対前年比減額を打ち出す可能性も考えられ、今夏ボーナスについては依然として不透明感が残る。

### 《調査要領》

1. 調査対象 県下の企業 887 社
2. 調査手法 郵送法によるアンケート方式
3. 調査期間 2008 年 5 月 15 日～6 月 2 日
4. 回収状況 回答企業数 239 社 回答率 26.9%

(山城 満)

### (回答企業の内訳)

	5人未満	5～29人	30～49人	50～99人	100～199人	200人以上	合計 (構成比%)
食品製造業	1	1	2	2	1		7 (2.9)
繊維製品製造業	3	9	4	4	1		21 (8.8)
木材・木製品製造業	4	10	1	1	1		17 (7.1)
化学製品製造業		4	1		1	1	7 (2.9)
窯業・土石製品製造業			1	2			3 (1.3)
金属製品製造業	1	7	7	6	2		23 (9.6)
プラスチック製品製造業		10	2	2	2		16 (6.7)
その他製造業		6	4	3	5	2	20 (8.4)
卸 売 業	1	14	7	1	2		25 (10.5)
小 売 業	4	6	1	1	1	4	17 (7.1)
建 設 業	1	27	5	2		1	36 (15.1)
不 動 産 業	3		1				4 (1.7)
運輸・通信業		1	1	1			3 (1.3)
サービス業	1	10	3	3	4	2	23 (9.6)
その他非製造業	1	7	3	3	1	2	17 (7.1)
合 計 (構成比%)	20 (8.4)	112 (45.0)	43 (18.0)	31 (13.0)	21 (8.8)	12 (5.0)	239 (100.0)